

## ■デンマーク：Orsted、再エネ投資拡大で“再エネメジャー”を目指す

2018年8月23日付の情報機関・通信社は、世界各地で洋上風力への投資を行っているOrsted社のPoulsen CEOのインタビューを掲載した。Orsted社は、Poulsen CEOが就任した2012年（当時はDong Energy）以降、石油、ガス生産事業から洋上風力へと大きく舵を切り、現在では世界の洋上風力発電の容量の1/4を設置、さらに陸上風力や太陽光へも投資を検討している。Poulsen CEOは「規模が重要である」とし、「地理的にも技術的にも、将来はより広い分野で大きなプラットフォームを構築する必要がある」としている。Orsted社は欧州の洋上風力の分野で最大手となっており、最近では蓄電池事業へも進出、8月には米国の風力発電事業開発会社であるLincoln Clean Energy社を5億8,000万ドル（約600億円）で買収した。Poulsen CEOは「2030年に向かって、我々は現在のオイルメジャーのような再エネメジャーと呼ばれる存在になるだろう」とした。Poulsen氏は、このような再エネメジャーになりうる会社としてスペインのIberdrola、イタリアのEnel、米国のNextEraを挙げ、今後の再エネ投資においては、どれだけ大規模な事業に投資できるかが非常に重要な要因になると指摘した。